

## 令和4年度 第1回山口県薬剤師会学校薬剤師部会地域委員会報告

報告者 田村 有基

日 時：令和4年6月11日（土） 16：00～17：00

場 所：Web会議

参加者：（部会長）沖田 敏宜

（副部会長）河添 真一、河田 尚己

（理事）尼崎 美奈子、小林 晃子、桑田 みゆき、年光 久美

中村 光宏、渡辺 眞美子、田村 有基

（監事）西村正広

（県薬会長）吉田 力久

（地域委員）藤原一慶、岩重千砂、末田淳子、山根由美、前田和治、伊藤由紀子

真瀬真佐子、蔵田卓也、山内裕之、山本和宣、大戸富美子

### 報告事項

1. 学校へのたばこに関する出張講座の件 沖田部会長より
  - ・フラッパー型たばこ資材も活用すること。
  - ・たばこの害に関する講義は県の健康進課からの委託事業なので、報告書の講座内容は薬物乱用防止についてではなく、たばこの害について書くようにすること。講演実施後にはすみやかに報告書を提出し必ず3月10日までには報告を終えること。
2. 令和4年度の会費の件 沖田部会長より

令和4年度の会費について、例年通りの1万円/人に決定した。
3. 地域の問題点について
  - ・学薬を担当していた薬剤師が転勤となり引継ぎをしたいが薬局でのマンパワー不足のため、引き継ぎが難しい。
  - ・支部内での例会やメーリングリストでの学薬業務の周知により若手が興味を持つようになり学薬会員の増加につながった。今後も会員増加につながる様に周知を行いたい。
  - ・会員の高齢化と過疎地域での薬局数が少ないことから人数確保が難しい。

- ・幼稚園が増加しているが、誰が学校薬剤師を担当しているのか地域委員にも情報が入ってこない。通わせている親が薬剤師で園から頼まれて学校薬剤師になっているケースもある。
- ・任期途中で学校薬剤師を辞めることになり、報酬をどうするかが以前問題になったが現在は取り決めがされている。
- ・コロナ禍のため支部内での研修会ができていない。
- ・新たに学校薬剤師になったが未経験だったので同行し指導した。自分の普段の業務もあったが結果的に会員増につながった。
- ・新たに学校薬剤師になった方に「学校環境衛生管理マニュアル」の製本を渡すことが出来ずダウンロードをお願いした。

#### 4. 学校薬剤師部会への要望

- ・「学校環境衛生管理マニュアル」が一新された時は製本をお願いしたい。
- ・要望がある際は随時メールにて受け付ける。

#### 5. その他

沖田部会長より

地域委員の先生方には、各支部の代表として新人へのサポートや、病気や突然の移動等で業務が続けられなくなった会員の業務の引継ぎを積極的に行って頂きたい。サポート体制が出来ると学薬会員の増加につながると思うので今後も各支部でのご指導をお願いしたい。